

Meiji Seika ファルマ株式会社

2026 年 3 月 5 日

報道関係各位

**慢性移植片対宿主病の治療を適応とする選択的 ROCK2 阻害剤
「蕾羅克®錠 (REZUROCK®錠)」の台湾における販売開始のお知らせ**

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永里敏秋）は、このほど、慢性移植片対宿主病（慢性 GVHD）の治療を適応とする選択的 ROCK2（Rho-associated coiled-coil containing protein kinase 2）阻害剤「蕾羅克®錠 (REZUROCK®錠)」（製品名、一般名：ベルモスジルメシル酸塩）について、台湾において 3 月 5 日より販売を開始しましたのでお知らせいたします。同剤は Meiji Seika ファルマの現地子会社である台湾明治医薬股份有限公司（本社：台湾台北市、董事長：村瀬健史）が、ロメック・ファーマ[※]との提携のもとで販売を行います。

慢性 GVHD は、身体的、精神的、社会的な側面にわたる様々なアンメットメディカルニーズを伴う病態です。身体的には、疲労感や慢性的な疼痛から臓器機能障害に至るまでの多様な症状を呈し、移植後長期間継続する場合があります。これらの病態は主に炎症と線維化によって引き起こされるものと考えられています。また、慢性 GVHD は、同種造血幹細胞移植を受けた患者における、再発によらない死亡および重症化の主要な原因であり、臓器不全と感染がその主な要因となっています^{1,2}。

「蕾羅克®錠 (REZUROCK®錠)」は、免疫細胞の分化と組織の線維化に関与するリン酸化酵素である ROCK2 を選択的に阻害する薬剤としては世界で初めて承認されたかつ唯一の薬剤です。同剤は、米国、カナダ、英国（Great Britain）、日本、ならびに韓国などにおいて既に販売されています。なお、日本およびアジア 12 カ国においては、ロメック・ファーマが、同剤を独占的に開発および販売する権利を保有しています。

Meiji Seika ファルマは、一人でも多くの慢性 GVHD 患者の新薬へのアクセスを実現することで、「蕾羅克®錠 (REZUROCK®錠)」が台湾の慢性 GVHD 治療に貢献することを心から期待しています。

※Meiji Seika ファルマがサノフィ傘下の Kadmon Corporation, LLC（本社：米国ニューヨーク市）と共に出資する合弁会社

「蕾羅克®錠（REZUROCK®錠）」の製品概要



製品名	蕾羅克®錠 200 毫克/ REZUROCK® tablet 200mg
一般名	ベルモスジルメシル酸塩
効能・効果	慢性移植片対宿主病（少なくとも 2 ラインの全身療法が奏効しなかった 12 歳以上の患者を対象）
用法・用量	ベルモスジルとして 200mg を 1 日 1 回経口投与する。
包装	ボトル包装（30 錠入り）
輸入販売元	台湾明治醫藥股份有限公司

参考文献：

1. Salhotra, A., Eiznhamer D., Hennegan, K. et al (2020). Presentation and management of chronic graft-versus-host disease in real-world clinical practice: A medical chart audit. *EHA Virtual Congress*, Abstract EP1436
2. Filipovich, A., Weisdorf, D., Pavletic, S. et al (2005). National Institutes of Health consensus development project on criteria for clinical trials in chronic graft-versus-host disease: I. Diagnosis and staging working group report. *Biology of Blood and Marrow Transplantation*, 11(12): 945-956.

以上